



発行
一宮市児童育成連絡協議会

事務局
一宮市栄3丁目1番2号
尾張一宮駅前ビル4階
(一宮市社会福祉協議会内)
TEL 0586-85-7024
FAX 0586-85-7025

令和5年7月18日

ウェブサイト「一の宮っ子」<https://www.intell-inc.com/ichinomiya.jido-ren/>



「指導者の皆さんへ」

子ども会活動の再生と発展

一宮市児童育成連絡協議会

会長 内田 清

指導者の皆さん、子ども会の推進役を引き受けていただきありがとうございます。

子ども会は、長年にわたり地域の中で育まれ、児童の健全育成に大きな役割を果たしてきました。その中で大切にされてきたことが、「子どものために何か楽しいこと、喜ぶことをしよう」と言う大人達の思いです。そして「子どもにできることは子どもにやらせよう」と言う考え方です。この精神が脈々と受け継がれ現在に至ります。

また子どもの健全な成長を願う支える関係者によって、「家庭で育て、学校で鍛え、地域で伸ばす」と言う協力体制が築かれてきました。

しかし、コロナ禍において人と人とのつながりや社会活動が分断され、子ども会も活動の制限を受け厳しい状況に直面しました。活動のノウハウが伝わら

ない、活動の中止など問題が発生しています。

子ども会は時代の変化に対応していくため「新しい生活様式」を取り入れ、子ども達の命を守り、安全・安心な環境下で笑顔で子ども会活動に参加できるように努力と工夫を重ねてきました。

その過程で「集い・遊び・つながりたい」という子ども達の思いを改めて知り、体験による学びと成長の場としての子ども会活動の果たす役割の大きさを再認識しました。



▲ 子ども会指導者研修会

活動を継続・発展させるため、まずはこれまでと同様、「できる事を見つけ、やれる時にやる」という姿勢で臨むことが大切です。子ども達のニーズをつかんだ行事や、地域社会との繋がりが深まる行事を計画し実践しましょう。

子どもの考えを大切にし、子どもにできる事はやらせる。失敗しても温かく見守り支えてあげる。「やれた。できた。ほめられた。」その喜びや体験が次の行動につながり、子どもは育ちます。子ども達にとって「子ども会が楽しい！」と言えるこ



▲ 市長さんより子ども会活動にエールを頂きました

ども会になるよう活動を続けていきましょう。

子どもによる子どものための子ども会活動をめざして！



令和5年度 一宮市子ども会

指導者研修会

宮西連区 仲よし子ども会

指導者 森 玲子

この度、一宮市子ども会指導者研修会に参加して参りました。

ご来賓の方からは、子どもの減少・超高齢化によりこれからの子ども会は、時代の変化に対応した持続可能な活動が不可欠であるとお話がありました。

前年度の指導者の方の体験発表では、コロナ禍でも、感染対策を徹底し、子ども会の活動を少しずつ復活されたというお話がありました。今できる事を最大限に楽しもうと、子ども達の笑顔の為に努力される指導者の方々の熱い思いに勇気づけられました。

ジュニアリーダーからは楽しいレクリエーションをして頂き、子ども会を経験した若者がまた次世代の子ども達のために活動していることを知ることができました。

最後に研修会を終えて、コロナのせいで変わってしまったと下を向くのではなく、コロナがあったからこそ人との繋がりをより大切にする前向きな活動にしていきたいと強く思いました。

また、途切れかけた子ども会行事のノウハウを次の指導者の方に伝えていく事も指導者研修会に参加した私たちの大切な役割だと思いました。



▲楽しさを次の世代へつなげる

木曾川町連区 日の丸子子ども会

指導者 橋口 悟枝

この度、一宮市子ども会指導者研修会に参加させていただきました。

最近ではコロナ感染が少しずつ落ち着きはじめ、今年こそはここ数年で中止になっていた子ども会行事を少しずつでも再開させたいと思っています。

昨年度の指導者さんの体験発表を聞いて、コロナ禍でも自由参加・人数制限等の感染対策を

して陶芸体験やドローン体験等の屋外活動をしていたとお聞きしてとても参考になりました。

指導者としてはすべてが初めてのことばかりで、不安もありますが、今年度はここ数年再開できなかった行事も行っていく予定なので、子ども達の笑顔をたくさん見られるように、また親御様たちが安心して送り出せるような子ども会活動をしていきたいと思っています。

昨年までは子どもを預ける立場でもわからなかった子ども会活動ですが、今年は指導者の立場になり、私自身も参加できるので近くでサポートできることを楽しみにしています。色々なお話を聞かせて頂きありがとうございました。

体験発表

西成連区 若年子ども会

指導者 河原 亜希子

昨年度はまだコロナの感染状況に波があり、子ども会運営は、コロナ禍3年目でも先が見えず、手探りで一年となりました。

その中でも、西成連区・西成小学校校下では、少しずつでも以前のように行事を開催しよう



▲制約ありだからこそその挑戦

と努力しました。

連区ではドッジビー大会、校下では福祉週間行事やビーチボール大会を開催しました。どちらも、人数制限や時間の短縮など感染対策を徹底していたので、以前の形や規模ではなかったものの無事開催できました。

若年子ども会でもその方針に従い、役員さんたちと話し合い感染状況を見ながら、新入生を祝う会や秋祭り、六年生を送る会など、以前よりは少ないですが3年ぶりに行事ができました。

その中でも、六年生を送る会では、一人の役員さんが、各ご家庭でお子さんの動画を撮影していただいたものと、一年間の子ども会での思い出の写真を編集してくださり、子どもたちと一緒に歓声をずっとあげながら楽しんで見ることができました。

後日、全保護者に配信しました。一年間の成長を感じてもらえたと思います。

制限のある中でも新しいことに挑戦でき、且つすてきな思い

出として残せたので、協力してくださった役員のみなさん、保護者のみなさんに感謝の気持ちしかありませんでした。

どの行事も子どもたちの参加率は高く、学校ではない休日に集まり何かをする、ということが特別に感じたのか、本当に良い笑顔で積極的に楽しく参加してくれました。

子ども会の指導者や役員はなかなか自ら進んでされる方は少ないと思います。

今年度は、より行事が元通りに出来るようになり、負担も増えるかもしれません。

しかし、自分の子どもをはじめたくさんの子どもたちの側と一緒に行事に参加でき、見守ることが出来る貴重な経験は、この先子どもが成長していく程少なくなるので、良い機会だったと感じました。

また、子ども会の役員さんたちや、他の子ども会の指導者さんたち、町内会の役員さんたちと出会い、協力していただいたことも大きな糧となりました。みなさんもマイナスイメージばかり考えず、プラスな面もたくさんあることを知ってください。来年の3月には携わって良かった、と思える一年になるよう頑張ってください。

浅井町連区 黒岩子ども会 指導者 モンタルボ 三知子

私は昨年度、子ども会と育成会に関わらせていただきました。とてもいい仲間に出会った。できた楽しい一年でした。

子ども会の行事としては、新入生歓迎会、お祭りの獅子まわりと太鼓の練習、夜店の出店、福祉大会やスポーツ大会への参加、ボーリング大会に卓球体験をしたクリスマス会、ドローン体験と六年生を送る会、そして陶芸体験。

コロナ禍で開催が難しいと言われている中ではありますが、やりたかった行事全てを行うことができました。

こんな時期にやってもいいのかな、どんな対策をすればみんなが安心して参加できるのか：正解のわからない答えを出すのに、みんなで頭を悩ませた時もありました。それでも話し合いをするうちに、子ども達と少しでも行事をしたい、集まる機会を作ってあげたい、とにかく楽しい事をしたい、コロナ禍だからこそできる新しい事もあるのではないかと、という思いが強くなりました。例えばコロナ対策として、行事を行うときは会食を中止にしたり、参加について、コロナを気にされる方が休

みやすいよう、自由参加の雰囲気をつくったりと工夫しました。コロナ禍の中では個人やご家庭の意思を尊重することが大切だと感じました。もちろん、今までのようにできなかった事もあります。でも今できる事を最大限に楽しもう！そう思いながら一年間を過ごしました。色々な事ができたのも、一人ではなくみんなで力を合わせて同じ思いで動けたからだと思っています。

陶芸体験については、私が育成会の研修会で偶然、陶芸体験をしたという子ども会さんの話を聞き、楽しそうだなあと思いました。他の役員に相談して3月末に追加で開催する事ができました。私が全く知らなかったこんな情報に出会えるなんて、この研修会に参加してよかったと心から思いました。

皆さんも子ども会の役員を受ける事になり、色々心配があったと思います。色々な会議に参加したり、行事の企画や運営など負担が多いなあと思う方も少なくないと思います。でも皆さん、大変な事ばかりじゃないですよ。役員をした事で色んな人に出会えたり、たくさんの子どもの笑顔に出会えたり！ものすごく貴重な一年を過ごせました。子ども達の笑顔のため、もち

ろんそれは一番大事な事です。が、それを企画運営する自分達も笑顔になれる事、それを大切に活動する事が大事だと私は思います。

「大変だったけど、楽しかったね。」私はそう言える一年だったと胸を張って言えます。

今日のこの機会をいただけた

児童福祉週間事業

神山連区 駅前子ども会

六年 長谷川 美琴

5月14日、駅前子ども会ではビーチボール大会に出場しました。

私はあまりビーチボールが得意ではないけど、学年がちがう子たちと同じチームでスポーツできるので、楽しみにしていました。下級生の子たちに、

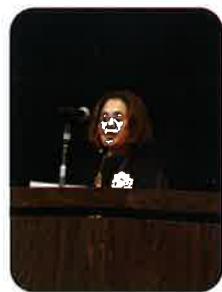
「下手でも楽しくゲームできればいいんだ」と思ってもらえたらしいなと思って、一生懸命楽しみました。対戦したチームはとても強かったけど、駅前チ

ームの子たちもとても上手でした。私も何回か得点できてとてもうれしかったです。

試合がない時は、ひかえ席でみんながトラップなどのカードゲームをして仲良く過ごせました。

今年の大会は、今までよりも

事も、その一つです。本当にありがとうございました。



▲貴重な一年でした

マスクを外して参加している子が多いような気がして、笑顔が見えて、とても楽しい雰囲気の中でゲームができました。コロナ禍で三年間できないことも多かったけど、これからはたくさん思い出を作りたいです。



▲笑顔も見えるよ ビーチボール

富士連区 わかば子ども会

四年 藤田 咲歩

5月13日に、富士小学校で福祉大会がありました。そこでシャボン玉おじさんが、シャボン玉パフォーマンスショーを見せ



▲シャボン玉の部屋!?

てくれました。どのショーもおもしろくて、その中でも特におもしろかったのは、身の回りにあるサンダルやチェーン、バーベキューのあみでシャボン玉を作っていたことです。そんな物でやろうと思いついてすごいなと思います。びっくりしました。私もやってみたいと思いました。

ショーを見せてくれるだけでなく、シャボン玉に入らせてくれました。シャボン玉でできた部屋の中にとじこめられている感じがして、もう出られないと一瞬思ったけれど、その瞬間シャボン玉は消えました。どうせならもう少しシャボン玉の中にいたかったです。後から写真で見たら水族館の丸い水槽に入っているように見えました。

シャボン玉に入れて楽しかったし、シャボン玉パフォーマンスショーはおもしろかったし、福祉大会に行ってきたと思いました。

今伊勢町連区 酒見子ども会

六年 田中 咲織

5月13日、私は児童福祉週間行事に4年ぶりに参加しました。

例年、高学年はなわとびだったのですが、そのつもりで参加しましたが、今年は玉入れと聞いて残念でした。なぜなら私はなわとびが好きで、なわとびの方がよかったです。運動場に行くと、思ったより多くの子ども会が参加していて、とてもびっくりしました。

玉入れのルールは、音楽が流れている間は周りを歩き、音楽が止まったら玉を入れるというものでしたが、実際始まってみると、音量が小さくて入れたり止まったりするタイミングがよく分かりませんでした。音楽が流れていても投げている人がいたので、それはだめだと思いました。高学年は投げる位置が遠くて全然入らなかったのでもう良かったです。相手チームに最



▲ただの玉入れじゃないよ

初はリードされていましたが、私達のチームも追い上げて、最後は、同点くらいになったのでよかったです。

コロナ禍でなかなか行事ができませんでしたが、今年は無事にできてとてもよかったです。

萩原町連区 戸荻子ども会

六年 南里 蒼雅

5月7日、萩原中学校で子どもフェスティバルがあり、4年ぶりに参加しました。

最初のしんかんせん体操ではフラフープ回しボール回しをしました。次に〇×ゲームをしました。知ってる問題も知らない問題もあり楽しかったです。その中でもジェスチャーリレーが一番おもしろかったです。一番うしろの人がお題を引いて順番にジェスチャーでつないでいき、最後に答え合わせをして当たっていればクリアです。このゲームはチームプレーが大事です。ほとくの列は2回やり両方ともあっていました。

今回、一〜六年生までいろんなゲームをして楽しい時間でした。なかなかみんなで一緒に遊ぶことがないのでいい経験になりました。みんなとのコミュニケーションもとれて良かったです。



▲みんなで楽しいね

KYT講習会

葉栗連区

安全部長 戸松 清絵

4月中旬、一宮市の安全部長が集まるKYT講習会に参加しました。KYTとは、危険予知トレーニングの事で自ら参加して、危険について考え、自らの危険回避能力を高めることができます。楽しい子ども会活動の中、大人の目線では見えていない、子どもの目線では見えない物があるので、子どもの目線になって危険予知をする事が大切になります。

大人も子どもも、夢中になっている時、疲れている時にケガをしやすいため、疲れている時は休憩させるなど教えてくださいました。また、子ども会活動で、公民館の開く前に子ども達が集まり、駐車場のブロックでケガをした話を聞きました。子ども会指導者や保護者、子ども

達にKYTが広がり、日々の活動の中で、KYTが定着していく事で、この様なケガが減少すると思いました。

自分自身の安全は自分で確保する能力を身に付ける事の大切さを改めて考える事のできる講習会でした。子ども会活動も活発になってくると思うので、安全に楽しく活動していきたいと思いました。

北方町連区

安全部長 百々 貴美子

一宮市の児童育成連絡協議会の安全指導委員会が行われ、KYT講習会の講義を受けてきました。

KYTとは、K(危険Y(予知T(トレーニング)の事です。作業に従事する作業者が事故や災害を未然に防ぐことを目的に、作業に潜む危険を予想し、指摘し合う訓練で、ミーティングや職場内研修を通じて、チームワーク向上などの効果が期待されるとしています。

講義では、テーマのついた「危険予知トレーニングシート」をもとに、行動目標をスローガン化、指差唱和することにより、予防行動につながることを学びました。

今回2度目の参加となりましたが、他者からの意見交換をす

ることにより、自分では気付いていなかった危険ポイントもありました。

子ども会活動は、一年生から六年生と学年により危険のとらえ方も違い、思わぬ行動が事故につながる事もあります。

連区に戻り、KYTを共有し、安全で楽しい子ども会活動になるよう努めたいと感じました。



去る4月15日、子ども会指導者研修会の席上で、多年にわたり子ども会活動の推進にご尽力された、左記のみなさんが一宮市長より感謝状を贈呈されました。

市長感謝状10年

今伊勢町連区児童育成協議会 木村 知之 様
大和町連区児童育成協議会 日野 恵円 様
大和町連区児童育成協議会 島田 浩美 様



編集後記

新年度を迎え、新しいメンバー5人で広報活動を始めました。新しい「一の宮っ子」をお届けできるように頑張っていきます。一年よろしくお願いします。

広報委員

河辺 三代・大窪 文子
奥田 純子・赤野 ルミ子
加藤 真弓